

暖房設備 平面図 1/50

機器表(新設)

記号	名称	仕様	数量	備考
OP 1	オイルポンプ	オイルポンプ、灯油用 能力: 20φ × 35L/min × 0.3MPa 電動機: 3φ 200V × 0.4kW 全閉外扇形 付属品共	1	蒸気ボイラー系統 (ファンコンベクター用)

機器表(撤去)

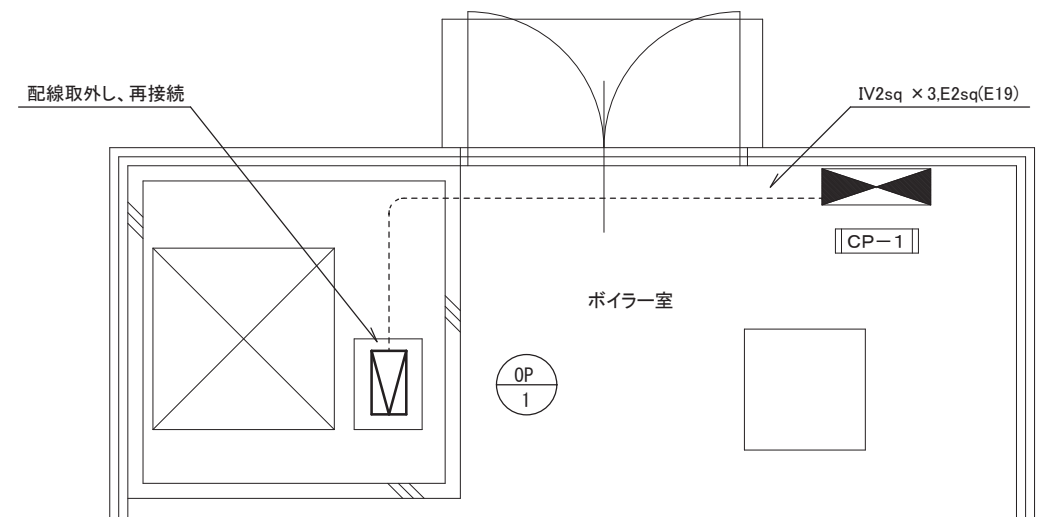
記号	名称	仕様	数量	備考
OP 1	オイルポンプ	オイルポンプ、灯油用 能力: 20φ × 35L/min × 3kgf/cm ² 電動機: 3φ 200V × 0.4kW 全閉外扇形 付属品共	1	蒸気ボイラー系統 (ファンコンベクター用) 型式: GPL II-20 (テラル)

凡例

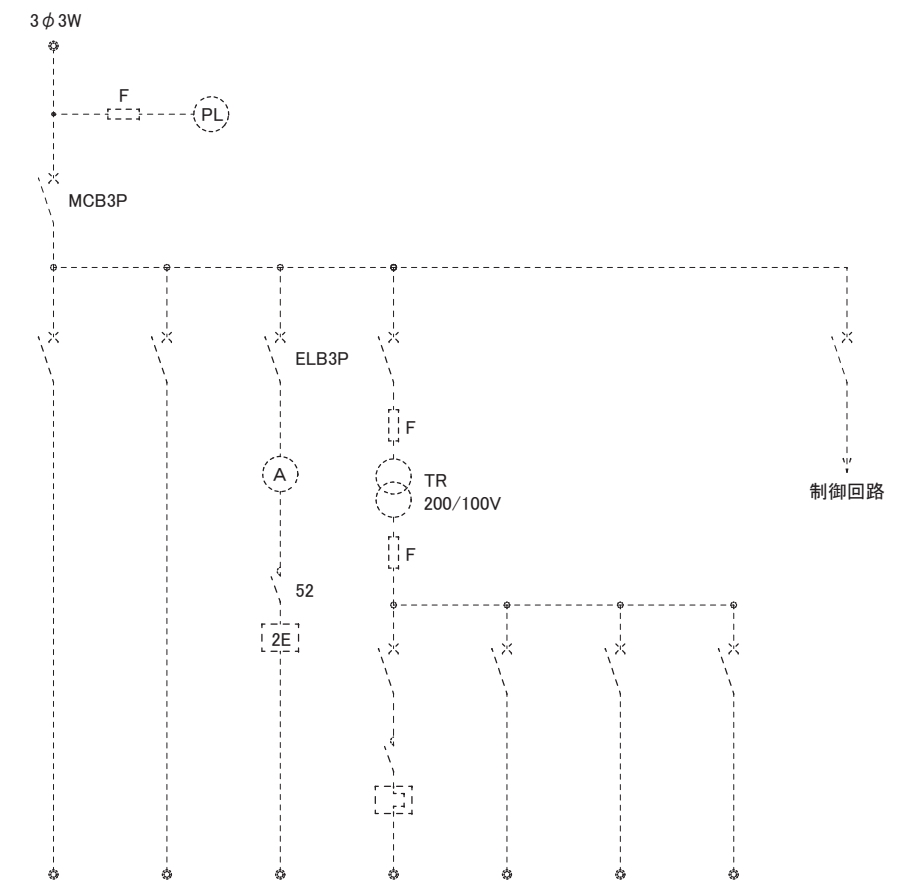
記号	名称	仕様等
OS	給油管	配管用炭素鋼管 SGP(黒)

特記

- 1 実線(太線)は撤去・新設を示し、破線は既設のままを示す。
- 2 指示なき配管・配線は露出配管を示す。
- 3 図中の新設機器仕様は参考とし、選定するポンプのメーカー及び仕様を限定するものではない。ただし、選定した機器仕様が図中の仕様に満たない場合は、既存システムの運用に支障が無いことを確認し、監督員の承諾を得た上で機器発注を行うこと。
- 4 採用機器により追加の配管・配線改修等が必要な場合は原則施工者負担で対応すること。
- 5 改修を行う全ての露出配管には塗装を行う。
- 6 機器据付用のアンカーボルトについては、採用機器について耐震計算書を作成し仕様を決定すること。また、設置したアンカーについては全箇所引張試験を行うこと。なお、既設ボルトが再使用可能な場合は監督員と協議し再使用しても良い。この場合も引張試験により既設ボルトの強度を確認すること。
- 7 FJ接続部のフランジパッキンのアスベスト分析調査(1検体)を実施し、分析結果を監督員に報告すること。アスベストが含有されていた場合は関係法令に基づき適正に撤去処分を行うこと。この場合の処分費については別途協議とする。
(設計上はフランジ部のアスベスト処分費を見込んでいない)
- 8 オイルポンプ本体にアスベストが含まれているため、法令に基づき適切に撤去処分を行うこと。
- 9 ポンプ更新後、給油システムの動作確認を行うこと。

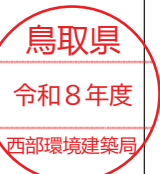


動力設備 平面図 1/50 (参考)



負荷名称	BS	PU	OP-1	F	蛍光灯	コンセント	軟水器
	蒸気ボイラー	真空ポンプ ユニット	オイルポンプ	給気ファン			
負荷容量	1.53kVA	1.85kW	0.4kW	50W	40W × 2	1500W	3W

CP-1 結線図 (参考)



工事名	県立皆生養護学校 ボイラー室オイルポンプ更新工事		SCALE	DATE	鳥取県西部総合事務所環境建築局建築住宅課	課長	課長補佐	係長	合議	担当	年度	図面NO.
	図名	機器表、暖房設備平面図、 動力設備平面図、CP-1 結線図		1/50		R8.04						